

東証IRフェスタ2014

# 個人投資家向け会社説明会

---



**日本光電工業株式会社**

(証券コード:6849)

2014年2月22日

執行役員 経営企画室長 平岡 俊彦

# 本日の内容

## 1 会社紹介

## 2 長期ビジョンと中期経営計画

## 3 株主様への還元とCSRの取組み

1

# 会社紹介

# 会社紹介

## 日本光電は 医療機器メーカーです

### 病棟



生体情報モニタ

### ナースステーション



生体情報モニタ

### 手術室・ 集中治療室



生体情報モニタ

### 救命救急室

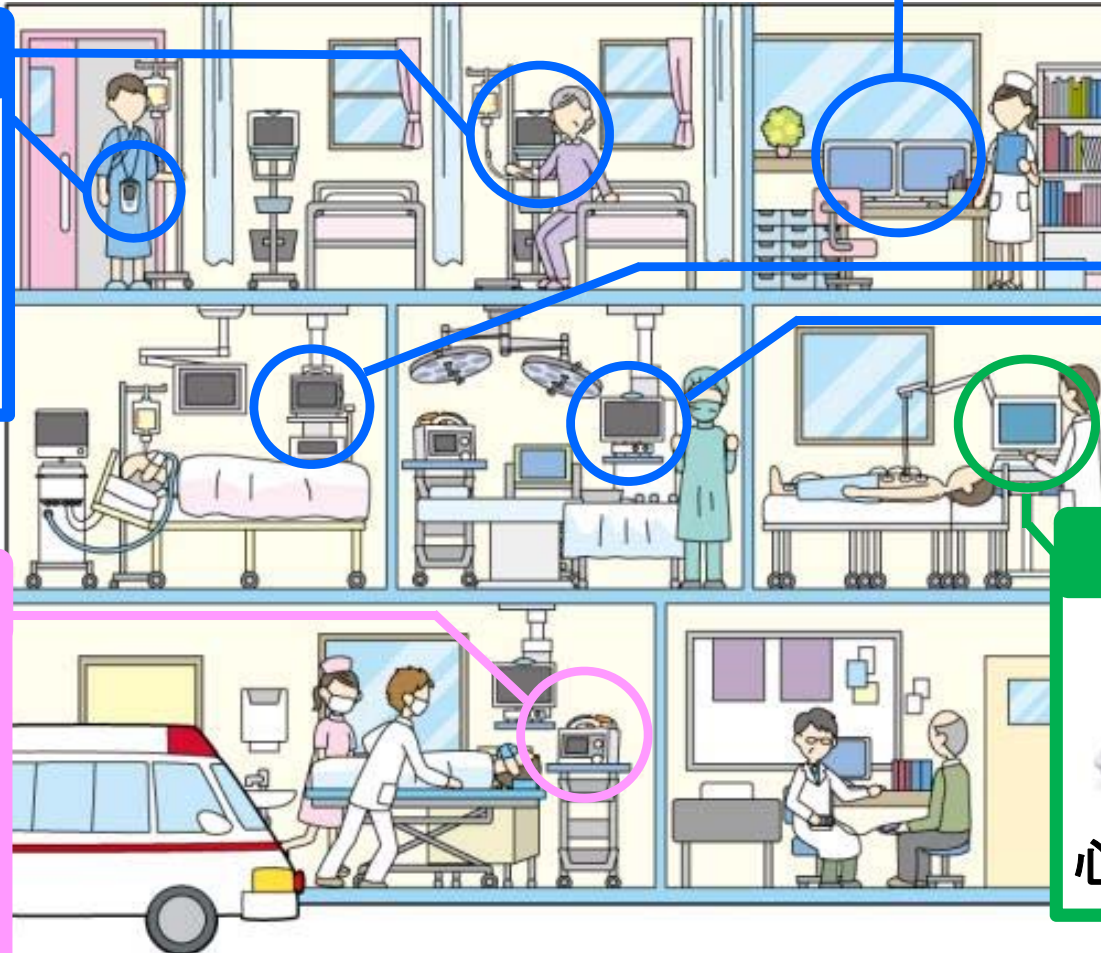


除細動器

### 検査室



心電計   脳波計   血球  
計数器



# 会社概要

会社名

日本光電工業株式会社

設立

1951年8月

本社

東京都新宿区西落合1-31-4

資本金

75億4,400万円 (2013年3月31日現在)

売上高

連結1,325億円 (2013年3月期)

従業員数

連結4,360名 (2013年3月31日現在)

上場取引所

東証第一部 (証券コード: 6849、単元株式数: 100株)

時価総額

1,883億円 (2014年2月14日 株価4,115円)



# 主な生産拠点

高い品質と安全性にこだわるモノづくり

## 富岡工場（群馬県）



当社医療機器の90%を生産するマザー工場

## 上海工場（中国）



新興国市場向けの普及機を生産

富岡工場、上海工場で作られた医療機器が、世界120ヶ国以上の医療現場で活躍しています

※富岡新工場を取得。第1工場、第2工場の生産機能を集約し、2014年秋から稼働予定。

# グループ体制 ～開発・生産・販売拠点～

(2013年12月31日現在)

## 国内

### 【販売拠点】

日本光電北海道  
日本光電東北  
日本光電東関東  
日本光電北関東  
日本光電東京  
日本光電南関東  
日本光電中部  
日本光電関西  
日本光電中四国  
日本光電九州

### 【生産拠点】

日本光電富岡

### 【開発拠点】

ベネフィックス  
日本バイオテスト研究所



営業所数 : 122 ヶ所  
サービス拠点数: 70 ヶ所

## 海外

### 【欧州】

日本光電ヨーロッパ  
日本光電フランス  
日本光電イベリア  
日本光電イタリア  
日本光電UK  
日本光電フィレンツェ

### 【米州】

日本光電アメリカ  
日本光電ラテンアメリカ  
日本光電ブラジル  
NKUSラボ  
ニューロトロニクス  
デフィブテック



●: 開発拠点

■: 生産拠点

●: 販売拠点

●: 開発、生産、販売

### 【アジア州】

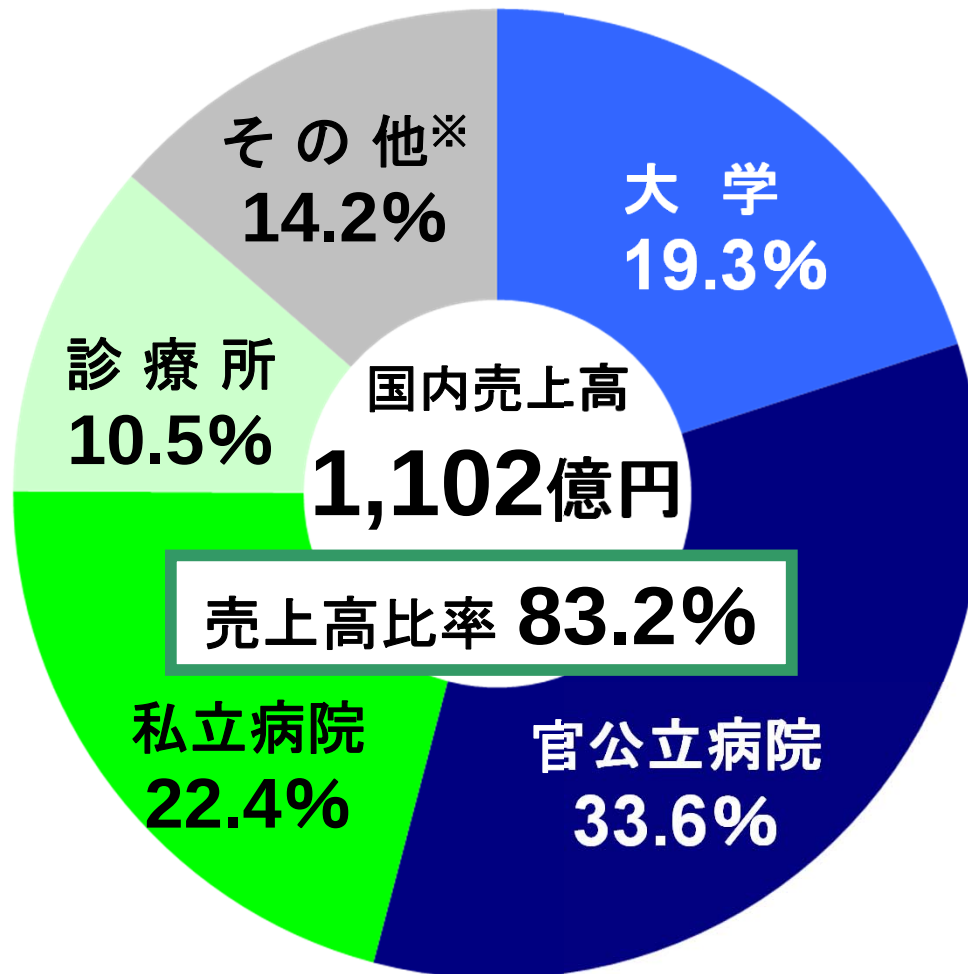
上海光電医用電子儀器  
日本光電インド  
日本光電シンガポール  
NKSバンコク  
日本光電ミドルイースト  
日本光電コリア  
スパン日本光電ダイアグノスティクス

# 地域別売上高

## 国内

### 市場別構成比

(2012年度)

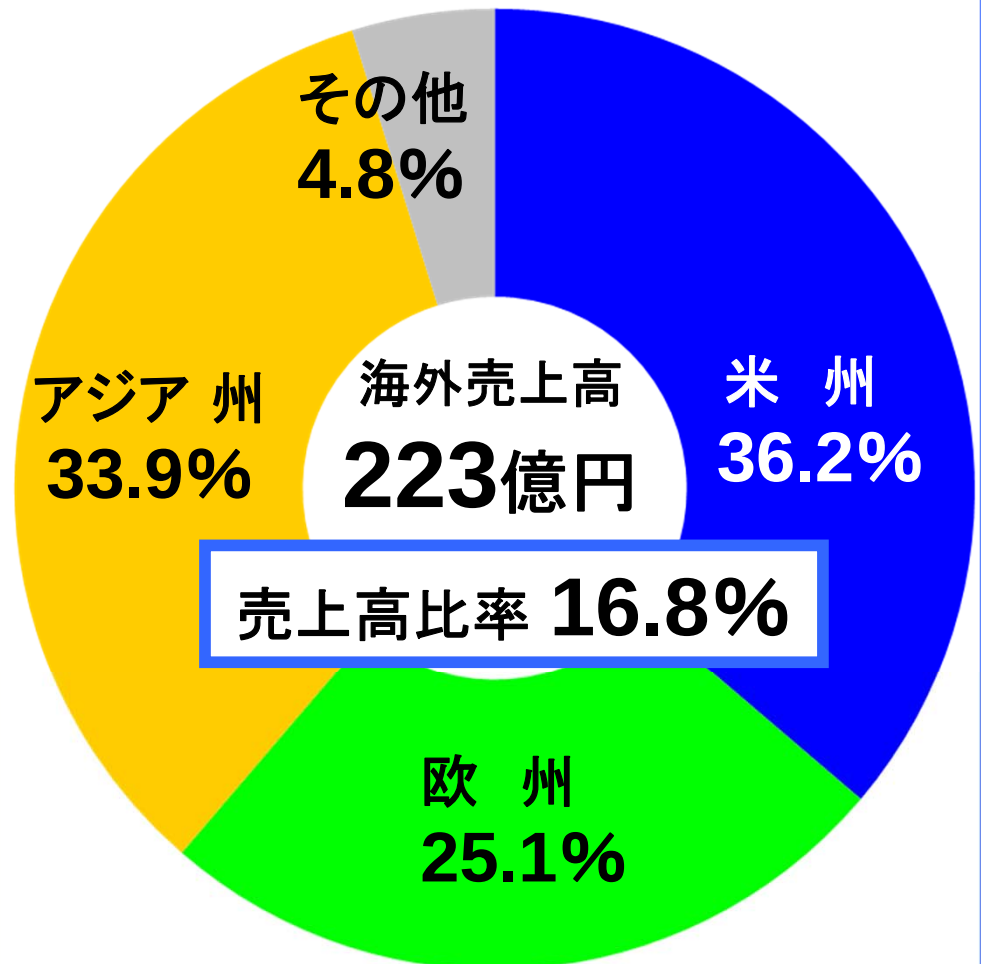


※その他には、研究所、動物病院、消防など行政機関のほか、AED納入先である学校や民間企業を含みます。

## 海外

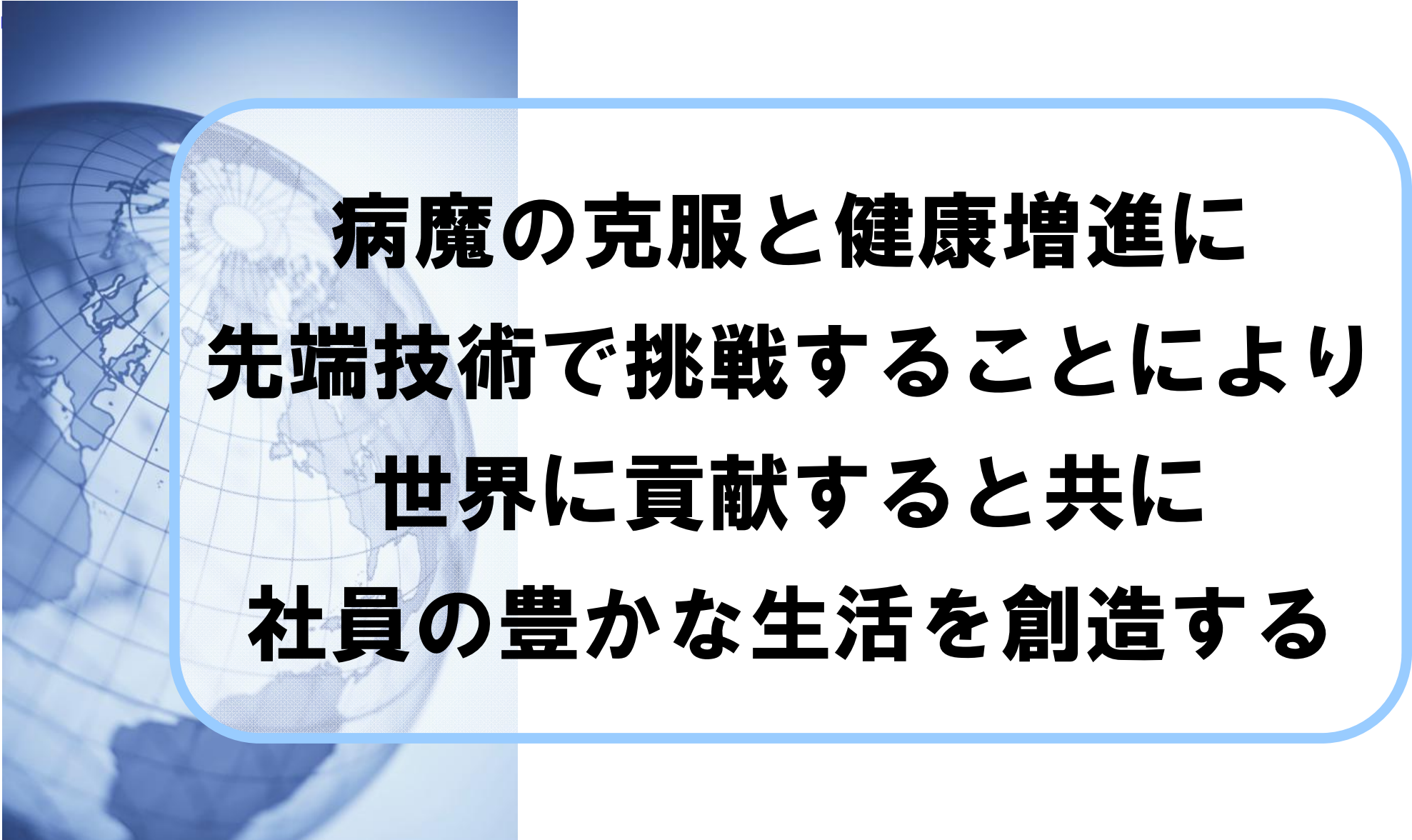
### 地域別構成比

(2012年度)





# 経営理念



**病魔の克服と健康増進に  
先端技術で挑戦することにより  
世界に貢献すると共に  
社員の豊かな生活を創造する**

# 創業時から受け継ぐ想い



創業者  
医学博士 荻野義夫

「一人の医者が救える命には限りがある。  
しかし、医療機器なら、それを世界中に  
広めることで限りない人々に貢献できる。」



わずか12名で発足

「『これは私達が開発したんだ』  
と世界に向かって大きな声で言える  
ような機器を1つでも多く。」

「本当のユーザーは医師の向こう  
側にいる患者さんである。  
**患者さんに優しい機器を。**」

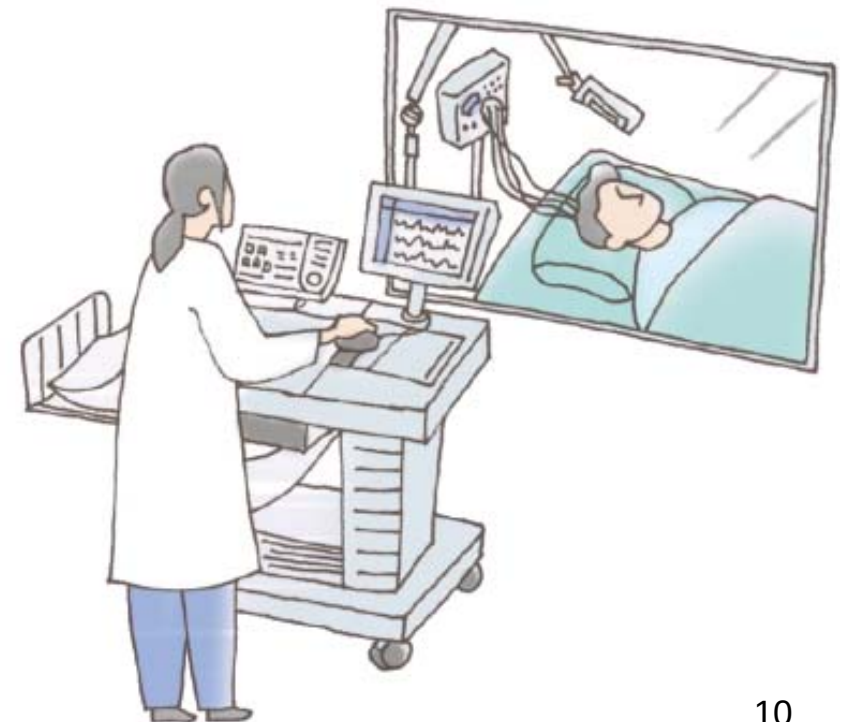
# 主力製品①「脳波計」

## 脳波計とは

頭に電極を着けて、脳波を測定し、脳の活動状況を確認



てんかん、睡眠障害、  
脳腫瘍、けがによる脳障害  
などの診断に使われる  
検査機器です





# 主力製品①「脳波計」

## 世界的な脳波計メーカー

1951年

世界初



全交流  
直記式  
脳波装置

1979年

世界初



マイコン  
脳波計

現在

世界中の研修医を  
受け入れる米国トップ  
クラスの病院が当社  
の脳波計を使用



第1位: ジョンズホプキンス



第6位: クリーブランドクリニック

※全米病院ランキング

神経内科・脳神経外科部門 (2013-2014年)

# 主力製品②「生体情報モニタ」

## 生体情報モニタの役割

患者さんの血圧、心電図、呼吸などを連続的に測定。血圧が急に下がった場合など、容態変化を**アラーム**でお知らせ





# 主力製品②「生体情報モニタ」

## 主力技術「センサ技術」

「患者さんに苦痛や負担を与えない」「より早く」「より正確な」生体情報の計測を目指して開発

1974年 **世界で初めて**「パルスオキシメータ」の原理を開発

正常な呼吸により血液中に酸素が十分取り込まれているかを測定

### 発明前

- ・採血
- ・痛みを伴う
- ・非連続



### 発明後

- ・指にセンサをはめるだけ
- ・痛みがない
- ・連続して測定

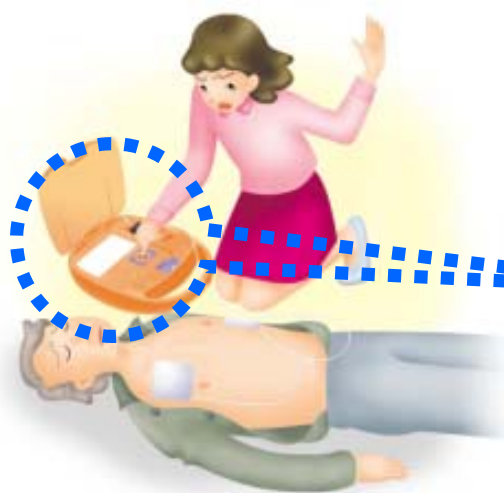


医療現場で**世界標準**として幅広く使用されています

# 主力製品③「AED」

## 国内唯一のAEDメーカー

日本企業ならではの細やかな心配りで、AEDの普及に貢献



全国でAED  
講習会を実施



2004年7月から一般市民も  
使用できるようになり、  
様々な施設への導入が  
進んでいます

# 主力製品③「AED」

## 東京マラソンをAEDでサポート



開催日：2014年2月23日(日)

大会規模：36,000人



AED75台の貸出しとボランティア  
として社員80名がランナーをサポート

# 日本光電の4つの商品群

## ④ その他

血球計数器や試薬、  
仕入商品など



## ① 生体計測機器

脳波計、心電計などの  
検査機器



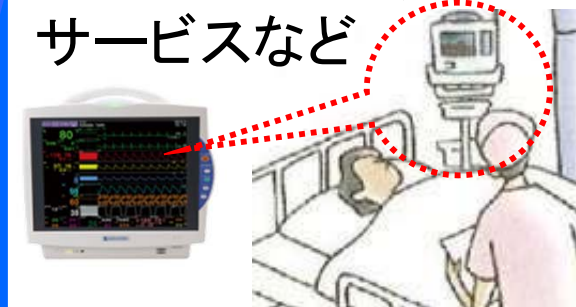
## ③ 治療機器

除細動器、AED、  
心臓ペースメーカー、  
人工呼吸器など



## ② 生体情報モニタ

生体情報モニタ、  
関連の消耗品、保守  
サービスなど



売上構成比  
(2012年度)

25.2%

25.6%

16.3%

32.9%

売上高  
1,325億円



# 機器だけでなく、消耗品も自社展開

- ・機器納入後も、関連の消耗品が安定した収益基盤に
- ・設置台数で高いシェアを確保することが、成長のキーポイント

## 血球計数器



+



試薬

医療機器

62.9%

消耗品・  
保守サービス

37.1%

売上高  
1,325億円

売上構成比  
(2012年度)

## 生体情報モニタ



+

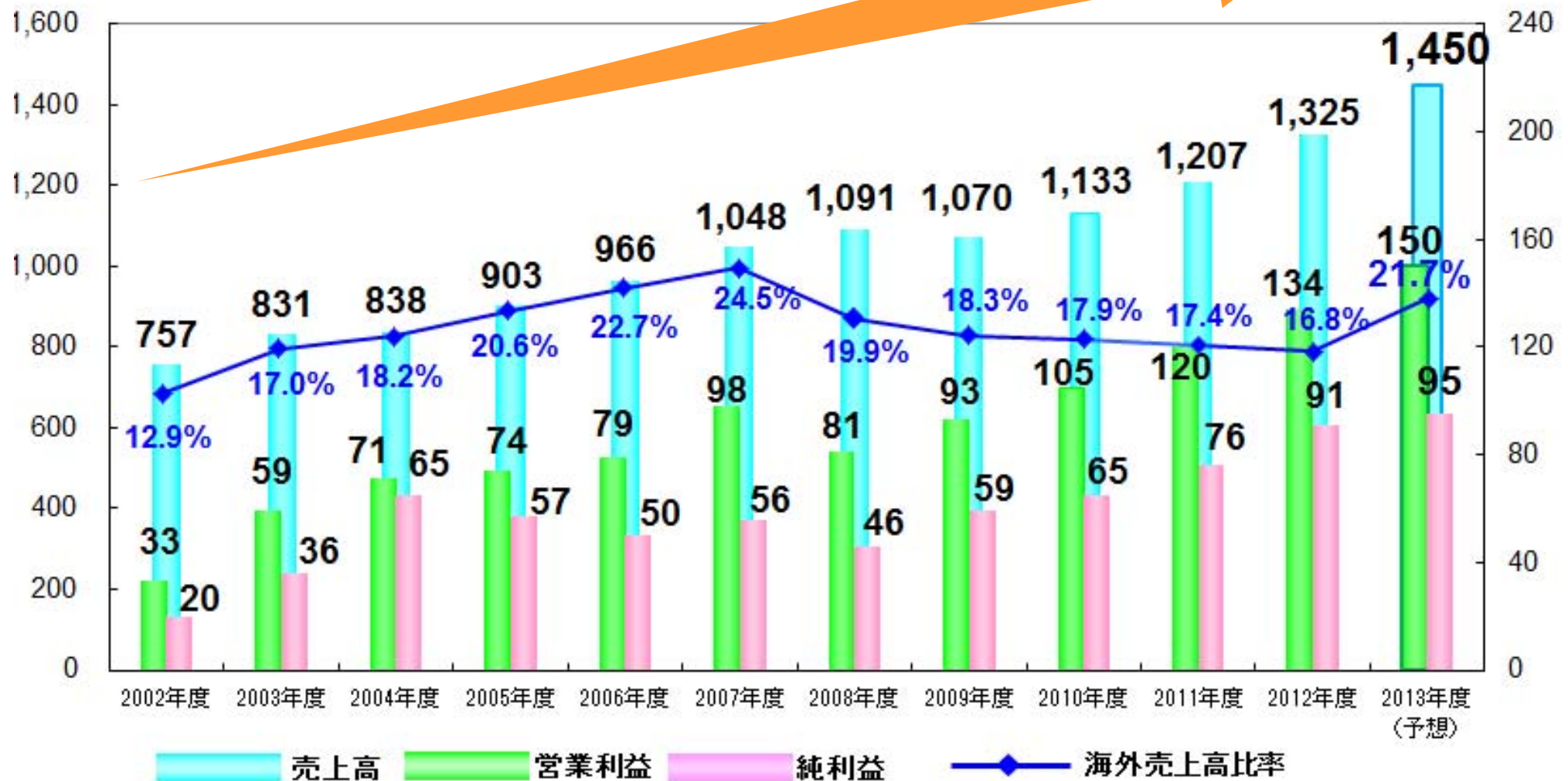


SpO<sub>2</sub>センサ

# 業績推移

売上高  
(億円)

営業利益・  
純利益  
(億円)



## 2 長期ビジョンと中期経営計画

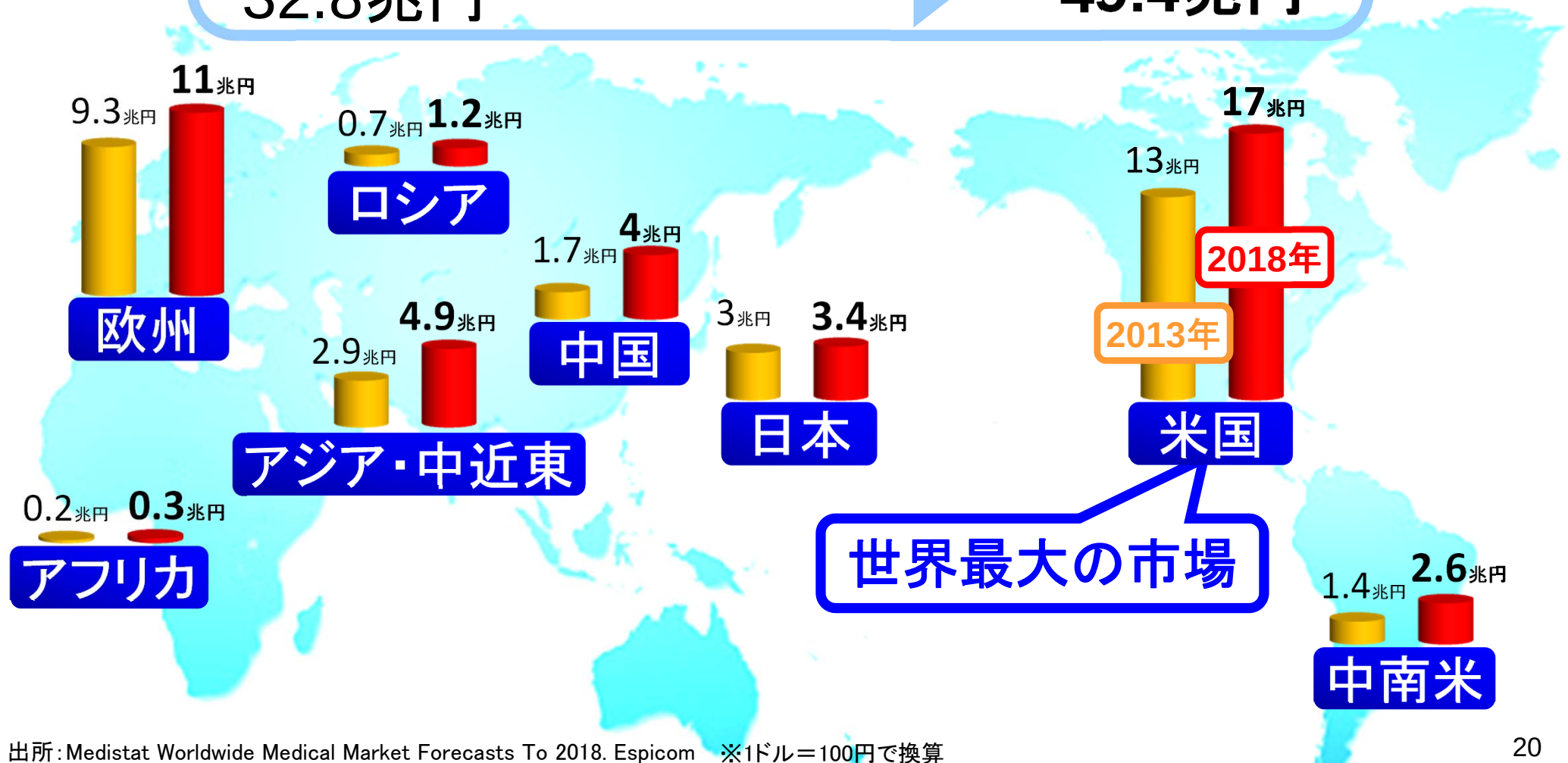
# 世界の医療機器市場

## 世界の医療機器市場は拡大基調

【2013年】  
32.8兆円

+約12.6兆円

【2018年】  
45.4兆円





# 長期ビジョン・中期経営計画

## 目標数値

長期ビジョン (2010/4～2020/3)

The CHANGE 2020

—The Global Leader of Medical Solutions—

第2ステージ

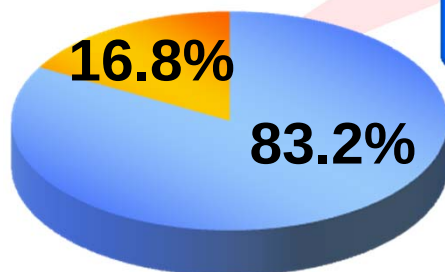
Strong Growth 2017

(2013/4～2017/3)

第1ステージ

SPEED UP III

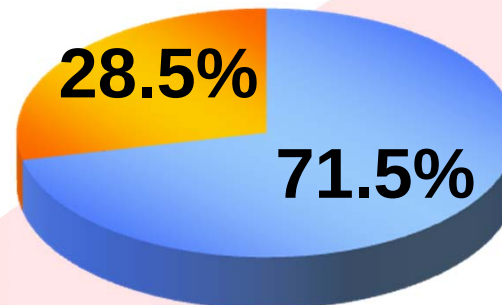
(2010/4～2013/3)



2013年3月期 (実績)

売上高 1,325億円  
営業利益 134億円  
営業利益率 10.2%

2017年3月期 (目標値)

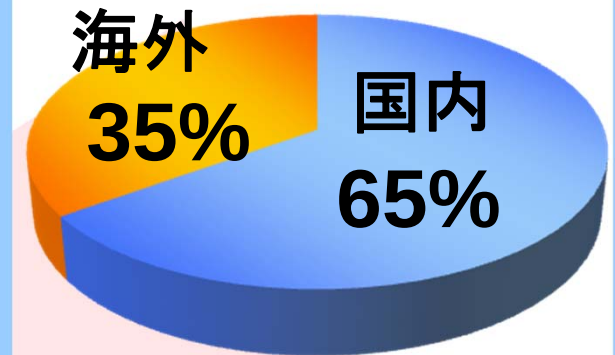


売上高 1,700億円

営業利益 180億円

営業利益率 10.6%

2020年3月期 (目標値)



売上高 2,000億円以上

営業利益 250億円以上

営業利益率 12.5%

# 中期経営計画 重要課題

世界トップクオリティの追求

技術開発力の強化

地域別事業展開の強化

コア事業のさらなる成長

新規事業の創造

企業体質の強化

# 世界トップクオリティの追求

「世界中のお客様から日本光電の“商品”“販売・サービス”は  
トップクオリティと認められる」よう、**グループ全部門の全ての  
活動で品質を確保**



**6年連続で顧客満足度No.1を獲得**

米国の医療機関に対して、第三者評価会社が実施した調査結果

**生体情報モニタ**



|    |             |            |
|----|-------------|------------|
| 1. | <b>日本光電</b> | <b>9.4</b> |
| 2. | A社          | 8.9        |
|    | ・           |            |
|    | ・           |            |
|    | ・           |            |
| 8. | B社          | 8.6        |

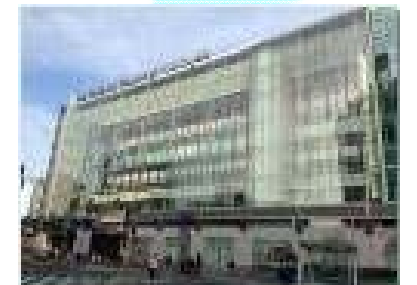
# 技術開発力の強化

## 医療現場のニーズに迅速・柔軟に対応できる開発体制の構築



### 米国での取り組み

- ・病院・研究所との共同開発・臨床研究  
(例) CO<sub>2</sub>センサの臨床研究 ⇒
- ・ファンド投資※を通じた先端技術の探索



フィラデルフィア小児病院

※Emergent Medical Partners II L.P.: 著名な医療機器開発者、心臓外科医のトーマス・フォガティ氏が投資責任者。



# 地域別事業展開の強化

日 本

米 国

新 興 国

# 日本：医療安全の取り組み

医療機関では医療安全確保・医療事故防止が急務

## 医療事故件数について（平成24年度）

ヒヤリ・ハット 690,109 件

医療事故 2,882 件

死亡事故 216 件

（ヒヤリ・ハット 報告施設数：559施設、 医療事故・死亡事故 報告施設数：926施設）

# 日本：医療安全に寄与する商品の提供①

## 生体情報モニタ

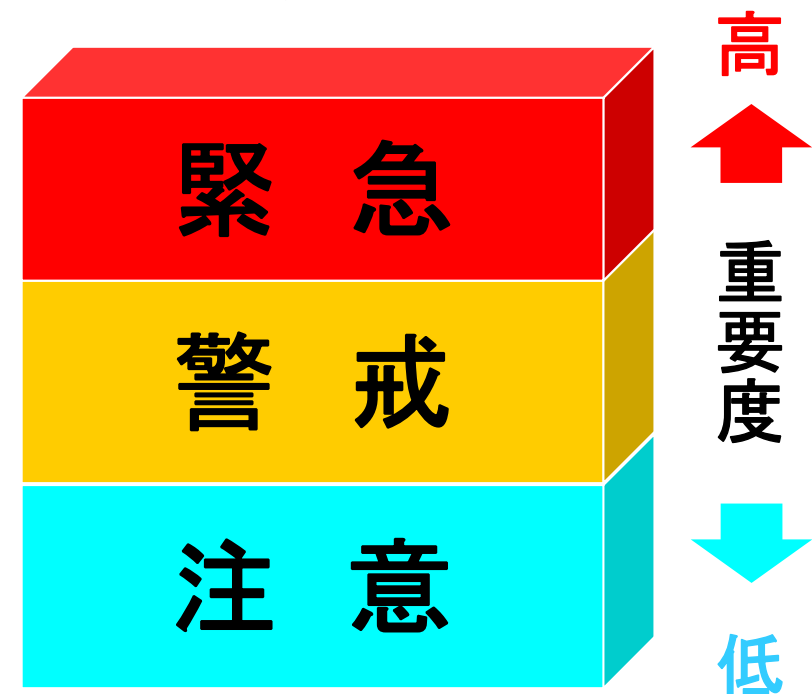


## 「鳴り過ぎない」アラーム

電極のズレや雑音の混入などによる誤アラームを大幅に低減

## 「見やすい」アラーム

緊急度に応じて色分け



# 日本：医療安全に寄与する商品の提供②

**患者さんの居場所をモニタで確認できる機能** **日本初！**

【例：トイレに設置した場合】

医療現場の課題：容態が悪化した患者さんの居場所がわからない



**解決策**





# 米国：世界最大市場で事業基盤を強化

## 生体情報モニタ・脳波計に加え、救命救急分野に参入

### 生体情報モニタ

高品質・高機能の  
製品ラインアップ



### 販売網の強化

- ・直販網の増強
- ・共同購買組織への販促強化

### 脳波計

全米トップ50病院  
への販促に注力

著名病院の要求に対応し、製品力を強化



クリーブランドクリニック

### 救命救急分野

2012年11月  **defibtech**  
a Nihon Kohden Company

デフィブテック社  
を買収



- ・米国の救命救急医療機器メーカー
- ・全世界に20万台以上のAED納入実績



# 新興国：事業基盤の強化

新興国向けの中国生産品  
を拡充



生体情報モニタ



心電計



血球計数器

上海光電

日本光電  
ミドルイースト

2012年設立

日本光電  
インド

2011年設立

日本光電  
シンガポール

日本光電シンガポール  
傘下にNKSバンコクを設立

NKSバンコク

2013年設立

日本光電  
ラテンアメリカ

2013年設立

日本光電  
ブラジル

2012年設立

アジア、中南米の販売・サービス体制を強化

# 新興国：事業基盤の強化

## 地域に密着した販売・サービス

- ・重点対象国への要員配置
- ・現地修理、トレーニングの充実
- ・代理店サポートを強化



## 提案型営業の推進

- ・著名な病院、医師との関係強化
- ・中国：省ごとに学術セミナー等を開催、波及効果がある拠点病院を整備



# 政府も日本式医療の輸出を支援

## メディカル・エクセレンス・ジャパン (MEJ)

官民一体で医療機器や医療サービスの海外展開を推進する組織。日本光電も参加。

日本

医療機器



医療サービス

日本式医療の輸出

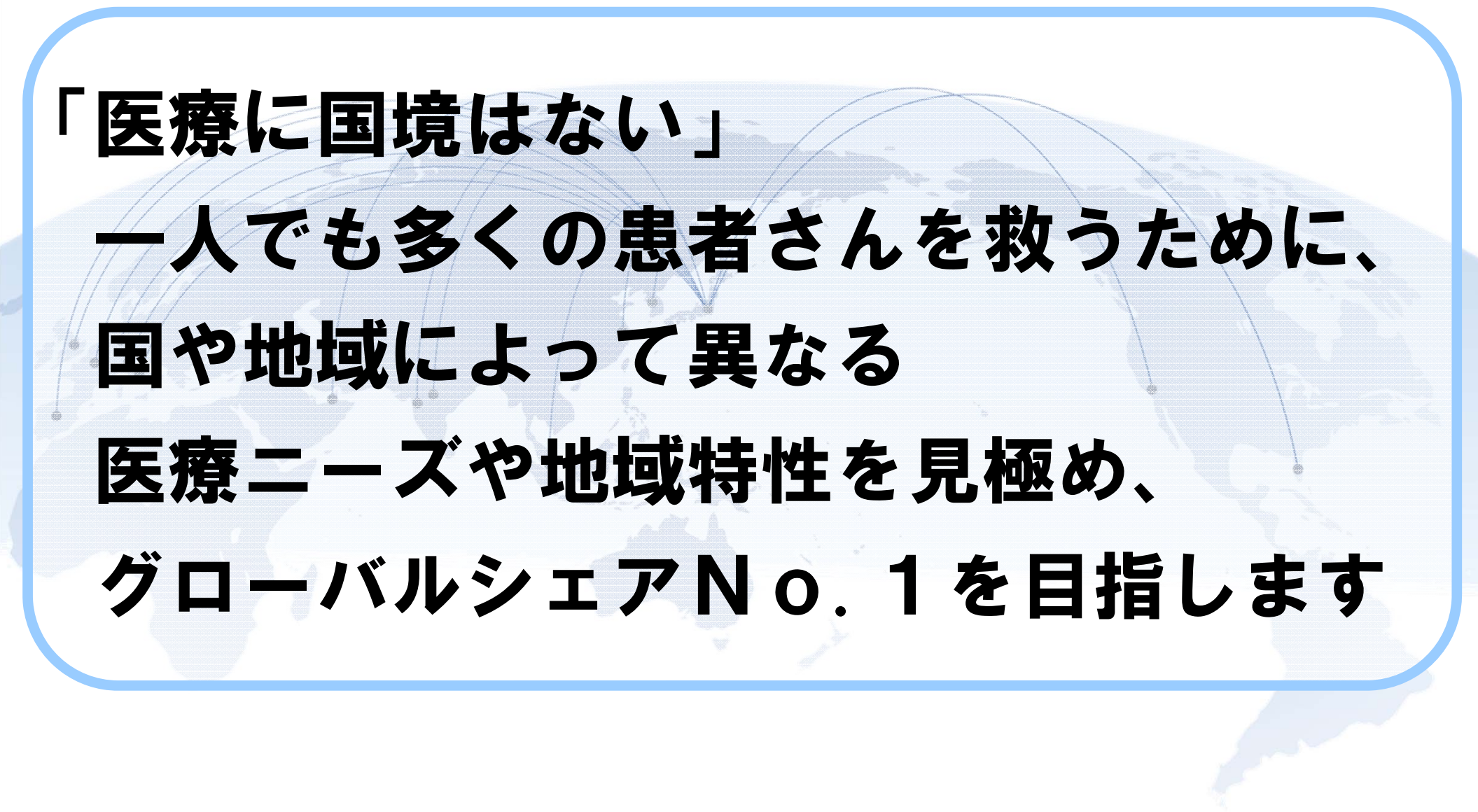
新興国



アジア、中東、  
ロシア、南米など



# 医療に国境はない



**「医療に国境はない」**  
**一人でも多くの患者さんを救うために、**  
**国や地域によって異なる**  
**医療ニーズや地域特性を見極め、**  
**グローバルシェアNo. 1を目指します**



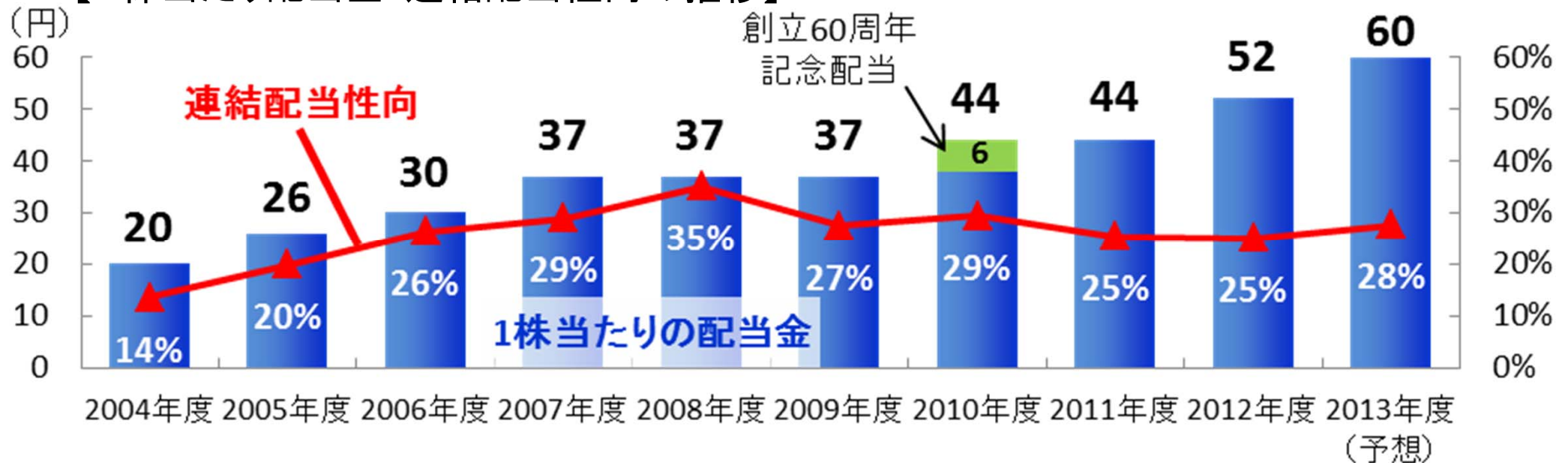
### 3 株主様への還元とCSRの取組み

# 株主様への還元

## 配当について

企業体質の強化と将来の事業展開に備えるための内部留保の充実に配慮しながら、  
長期に亘って安定的な配当を継続 → **当面の目安：連結配当性向30%**

### 【1株当たり配当金・連結配当性向の推移】



配当利回り: 1.5%  
(2月14日株価 4,115円)

## 自己株式取得について

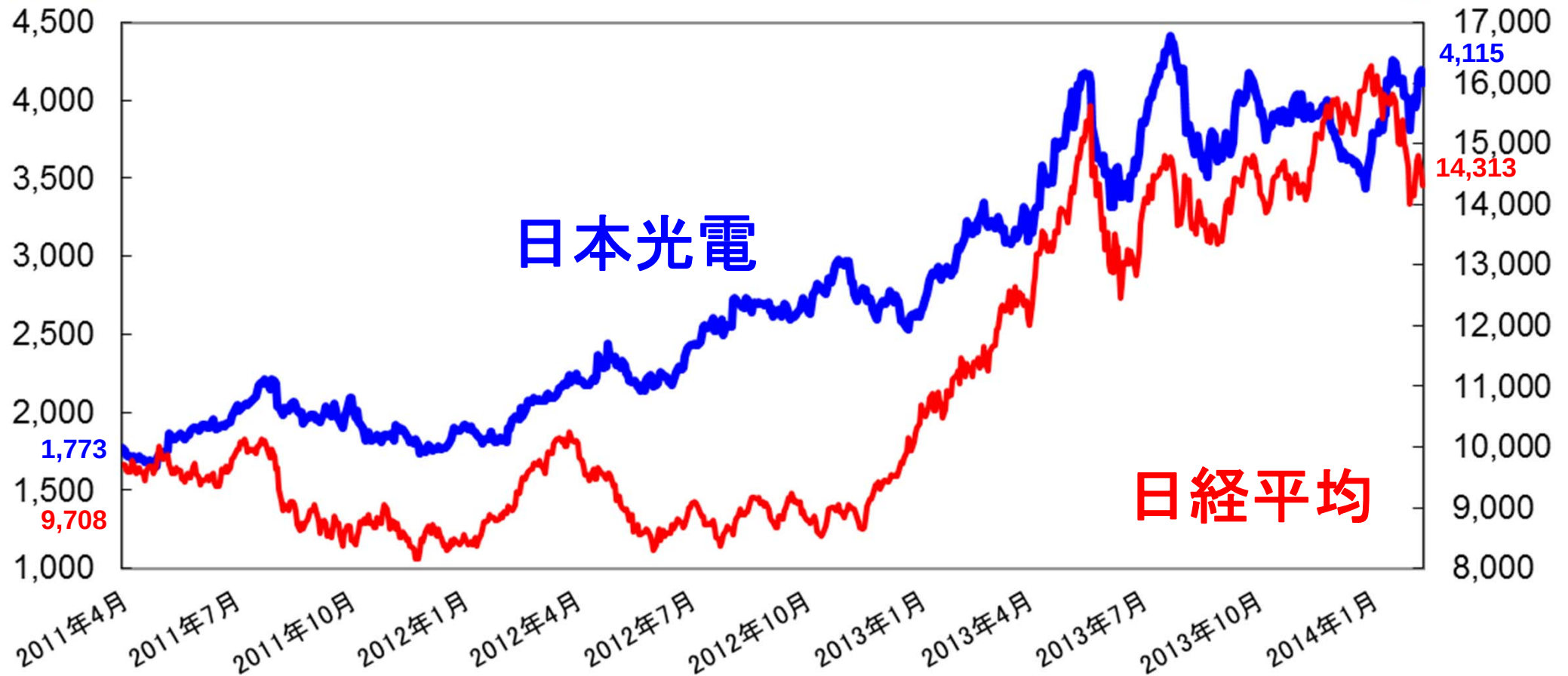
**取得実績** 2013年12月末現在の自己株式保有: 183万株 (持株比率: 4.0%)

# 株価推移

2011年4月1日から2014年2月14日までの株価推移

日本光電(円)

日経225(円)



- ・2011年4月「日経500」の銘柄に採用
- ・2014年1月開始の新株価指数「JPX日経インデックス400」に採用

# CSR(企業の社会的責任)の取組み

日本光電では、会社と個人が一丸となり、社会貢献に取り組んでいます



- ・全事業所にAEDを設置
- ・全社員が心肺蘇生＋AED講習会を受講

富岡第二工場が、ドクターヘリや防災ヘリの場外離着陸場に指定





# ホームページのご案内

当社ホームページを是非ご覧ください。〈AED情報〉 <http://www.aed-life.com>

日本光電

検索

## 〈IR情報〉

<http://www.nihonkohden.co.jp/ir>



The screenshot shows the IR Information page with a sidebar menu on the left containing links like 経営方針, 財務・業績, IR資料室, 株式・債券情報, 個人投資家の皆様へ, 情報開示方針, 電子公告, and IRスケジュール. The main content area features a '最新情報' (Latest Information) section with a table of recent announcements, including financial statements and investor briefings. Other sections include '個人投資家の皆様へ' (For Individual Investors), 'IR資料一括ダウンロード' (Download all IR materials), and a bottom navigation bar with links to 経営方針, 財務・業績, IR資料室, and 株式・債券情報.



The screenshot shows the AED Life website, which is dedicated to AED information. It features a header with the AED Life logo and a navigation menu. The main content area includes sections for 'AEDの基本情報' (Basic Information about AED), '日本光電のAED' (AEDs from NIHON KOHDEN), and 'AEDに関するお問い合わせ' (Contact us regarding AED). The website is designed to provide comprehensive information about AEDs and their use.

## 〈日本光電のモノづくり〉

<http://www.nihonkohden.co.jp/manufacturing>



The screenshot shows the Manufacturing page, which highlights the company's commitment to quality and innovation. It features a large image of various medical equipment, including AEDs and diagnostic devices, with the text '世界中で使用されている日本光電製品' (Japanese Kohden products used worldwide). The page also includes a section for '国内主要工場の紹介' (Introduction to our main domestic factories).

## 〈テレビ・映画で活躍する日本光電製品〉

<http://www.nihonkohden.co.jp/ippan/media.html>

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。